

令和 7 年度 第 2 回 地域福祉推進協議会議事録(概要版)

日時: 令和 7 年 12 月 2 日

場所: 名張市役所 庁議室

1. 開会・会長挨拶

高齢化に加え、人口減少が加速する中、今後 20 年を見据えた地域福祉計画の推進が求められる。本会議は、活動を紹介・刺激し合い、新たな取組を生み出す場としたい。

2. 議事 1: 第 5 次計画の進行管理について

【事務局説明】(資料2)

地域福祉計画は定量的評価が困難なため、報告された取組を「取組量」として可視化し、市民意識調査と合わせ、計画の進捗把握や課題抽出に役立てたい。

【主な意見】

- 委員: 会議での発表だけでは網羅性に欠ける。実際にはもっと多くの活動がある。地域の活動をホームページ等で投稿・見える化できる仕組みがあると良い。他団体との「顔の見える関係づくり」を目的とした機会が欲しい。
- 会長: 取組の可視化自体が目的ではなく、課題を共有し、市民への発信力強化に繋げることが重要。
- 委員: 地域の活動負担が集中し、民生委員等の後継者不足は深刻。
- 委員: 「ちいかけん」の活動のように、企業と協働することで、人材不足を補う物や知恵のネットワーク作りも有効。
- 委員: 地域の寛容度や、若い世代が主役になれる環境づくりが重要である。
- 会長: この議論を踏まえて、取組量を見るというのは少し難しそう。特定のテーマがある方が、意見を出しやすいという委員もいる。継続審議の方向で進める。

3. 議事 2: 地域福祉にかかる各施策の取組状況

【市・社協報告】

- ユースプレイス「Naba り nk」: 令和 8 年夏頃の開所を目指し、若者による実行委員会で運営方法を検討中。

- **子どもの居場所:** 夏休みの居場所は定員満席となるなど好評。放課後子ども教室も拡大予定。
- **情報発信:** あんしん出産・子育て応援事業では、産科の分娩取りやめに伴い、対象外世代への発信不足により不安を招いた。全世代への情報発信を強化する。
- **介護予防:** 22 の公募事業を選定し、多様な主体による連携を促進。
- **社協活動:** 社協は「ささえあい活動」と「配食ボランティア」の交流会を実施し、共通課題の解決を図った。
- **災害支援:** 災害支援の明文化を受け、平時からの顔の見える関係づくりを進める。

【各団体・委員からの報告】

- **隠おたがいさん:** 利用者増に対し、協力会員の確保が課題。
- **民生委員児童委員協:** 小学生向け認知症サポーター養成講座を実施。学校・まち保・民生委員の連携モデル。
- **名張保護司会:** 閉鎖的な組織から脱却し、スポーツ大会や作文コンクール等を通じ、地域で見守る活動を推進。
- **シルバー人材センター:** 会員の高齢化が進む中、就労だけでなくクラブやボランティアを通じた外出・仲間作りを促進する。
- **介護支援専門員協会:** 独居男性へのサービス介入の難しさや、移動支援・金銭的負担が課題。2月にケアマネ勉強会を開催予定。

4. 閉会

事務局・委員ともに評価のあり方は試行錯誤中である。今後も、この会議が具体的な課題解決に向けた前向きな議論の場となるよう検討を続ける。